希学園 第414回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第414回公開テスト 小5国語 解説動画(2026年11月8日実施)	https://vimeo.com/1244132318/e86f5d8e86

1

1 自らの
2 暴力
3 共存（3完答）
4 論理的に
5 A ウ / B ア / C エ（5完答）
6 （記述題）
7 客観的
8 イ
9 ウ
10 X カ / Y エ / Z イ
11 a 原動力 / b 道徳 / c 参照

2

1 a 自覚 / b 意図 / c 勝手
2 X ど / Y が / Z ぶ
3 I イ / II ウ / III ア（3完答）
4 A ア / B エ / C イ（4完答）
5 イ
6 自分がいなくなった穴
7 ア
8 ウ
9 （記述題）
10 中学時
11 エ

配　点

1 10・11 2 1・2	各2点×12＝24点
1 6 2 9	各6点×　2＝12点
その他	各4点×16＝64点
	100点

1

6 数学で扱う概念は抽象的なので、ふだんの生活とはあまり直接的に関係がないこと。（同意可）

2

9 仲のいい友達との関係をリセットしたこと。（同意可）

1 [1]（竹山美宏『数学ができるとはどういうことか』より）

1 文章全体の話題を示している問いかけである。もちろん、読んでいるときにはこれが文章全体の話題に関わるかどうかはわからないが、問いかけを見たらそのことについての答えを探すつもりで読み続けることが大切である。本文は(1)と(2)の段階の学習の重要性について考える前提として、社会の安定の重要性をあげ、そのためには納得を共有することで共存の意思を育むことが大切であるとし、納得の共有のためには言葉を正確に使いながら筋道立った説明をしなければならず、そこで(1)と(2)の段階の学習が役に立つ、という流れになっている。その後、これをまとめた内容として文部科学省の解説をあげており、答えはこの引用文中にある。

2 数学を学ぶ理由を考える前提として、社会の安定をあげ、その内容についてくわしく説明する流れになっている。説明文では新しく出てきたことばについてくわしく説明を続ける流れはよくあるので、読むときも解くときもその後の文章をていねいに追いかけていこう。

3 六行前の「そして」から始まる段落からが、「共存の意思を育む」ことについての説明がなされているまとまりである。文章を読むときは意味段落や場面といったまとまりを意識しよう。

4 同じ意味の言葉を探していくことも一つの方法だが、「筋道を立てて自分の考え」を「説明する」と書かれているので、本文ではどのように「自分の考え」を「説明する」と書かれていたかを探していけば効率的に解くことができる。

5 B・Cの「もちろん、（相手の考え）。しかし、（自分の考え）。」の流れは説明的文章でよくでるうえに重要なことがらを示すことが多いので覚えておこう。

6 ――線⑤の「そのこと」は、――線⑤をふくむ一文のはじめの「菊池寛はそのことを…」の「そのこと」と同じ内容であり、段落冒頭の一文を指している。

7 人による違いが少ない、ということなので、だれにとっても同じである、といった意味の言葉である。また、問4と同じように数学の議論がどのようなものだと説明されていたかを探すことも一つの手である。

8 問いかけの後で、「そうは思いません」と結論をはじめに提示してからその理由や説明を続ける展開である。その後に続く内容にあっているものを選べばよい。アは「互いの知性を信頼する」ことで「数学の正しさを共有」できるとしているのが、文章とは逆である。ウは前半と後半がつながっておらず理由の説明になっていない。エは「すべての人たちが」としているのが言いすぎである。

9 ウが問6で問われたところに関わる内容で正しい。アは「数学の問題を解くこと」が誤り。この文章では問題を解く手前の段階の学習について書かれていた。イは「他者と共有することでしか」と限定しているのが誤り。エの社会の安定に関して、本文では「数学を生活や仕事に生かしたり、数学の面白さを味わったりするためには、まず社会が安定していなければならない」と書かれており、ここでは「数学を題材にして理解を共有する練習をする」ことについては書かれていないので誤り。

10 熟語の組み立ては初めて見る熟語の意味を推測するのにも役に立つのでよく覚えておこう。

11 a「原動力」は「動」を「働」としてはいけない。b「道徳」の「徳」はつくりの形を正しく書こう。c「参照」はほかのものを参考にすることである。

2 [2]（町田そのこ『きっとあの日の光と同じ』より）

1 a「自覚」は「自」の一画目と二画目をまっすぐつなげて「目」から左上に棒がつきだしたような形にしてはいけない。b「意図」の「図」には「図る」のように考えを実現させようとする、という意味がある。c「勝手」は「勝」のつくりの形に気をつけよう。

2 X「もどかしい」…思うようにならなくてじれったい。Y「もがく」…苦境をのがれようとしてあせること。Z「暇つぶし」…たいくつな時間を適当に過ごすことや、その手段。

3 Iは直前の言葉を発した南戸の様子なのでイとなる。文章のはじめで南戸が背中を向けていたこともヒントになる。IIはなやみごとを話しているときの南戸の様子なのでウ。IIIは友達のかわりに「おれ」を利用したことを謝っている様子なのでアである。

4 Aはゆっくり立ち上がる様子、Bはきつい言葉に緊張する様子、Cは小声でつぶやく様子である。

5 火の珠が落ちる様子だが、ここでは直前の「泣きたくなって」に合わせて涙のつぶが落ちるような印象が作り出せる言葉がよい。

6 「…のことばかり考えてしまう」という文の形に注目し、ここで南戸が考えているのは何かと探していくと見つかっただろう。

7 「おれ」が南戸をはげまそうと一生懸命話しているところである。

8 直前のやり取りで、「おれ」の「次のスタートを待ってるって感じ？」に対して南戸が韓国での新生活のことばかりを語っている。

9 ――線⑤に続く南戸の言葉の終わりに、「あたしはどうして、リセットすればいいなんて考えちゃったんだろう」とあり、ここに後悔の気持ちが表れている。ただし、どのようなことを後悔しているのかが問われているので、「考えていた」にあたる言葉はいらない。

10 人を表す言葉が文中のだれのことか、通読時によく確かめよう。ここではじめて久実と智子の名前が出たすぐ後に答えがある。

11 不適当なものを選ぶことに注意しよう。エの「いい友達がたくさんいるところ」については、［　①　］の直後で「友達、いっぱいいた方がよくないか？」とは言っているものの、「おれ」にいい友達がたくさんいるかどうかまではわからないので不適当である。

以　上